看護職の再就職を応援する情報誌
TOKYOナースプラザ Vol.52 2010.9.1

やっぱり看護が好き

座談会
看護師の障害からの復職
復職への意欲を受け止める施設が増えています

Interview●これからの看護
「看護師として自立する」ことを目標に掲げて

おすすめ研修
患者はなぜ怒る! クレーム・暴力の対応

取材記事
ふれあいナースバンク(再就職相談会)

東京都ナースプラザ

「看護師として自立する」ことを目標に掲げて

久保 文子さん　財団法人精神医学研究所附属東京武蔵野病院　副院長・看護部長

7人兄弟の末っ子として、わがままに育ったという久保さん。家を出てみたいという理由から、家族には内緒で全寮制の看護学校を受験します。それが看護との出会いでした。合格してからの事後報告に、それでも、「自分の好きなことをしなさい」と、送り出してくれたのは明治生まれのご両親でした。看護師となった久保さんは、予防法廃止前のハンセン病療養所での看護から、多くのものを得ることになります。

久保さんの東京武蔵野病院への赴任は1991年、認知症病棟の立ち上げがきっかけでした。

「自分の看護師としての締めくくりは老人看護と、かねてから考えていました」

赴任までの17年間勤務したのは国立療養所多磨全生園。当時の療養所は予防法によって社会から隔離された特殊な環境でした。長年の偏見や差別が患者さんに及ぼした精神的影響は計り知れず、鬱屈した感情が職員に向けられることもしばしばでした。そんな中、顔や手足に著しい後遺症が残り視力も失った患者さんを、抱きかかえるようにケアしている先輩看護師の姿に、入職したばかりの久保さんは衝撃を受けます。「果たして自分にできるだろうか」というのが偽らざる心境だったといいます。

しかし久保さんは、この看護に真正面から取り組むことを選択します。そして、少しずつわかってきたのは、このような環境にある看護師と患者さんとの関係も、根底にあるのは「人間と人間の関係」にほかならないということでした。看護師として、患者さんと真摯に向き合うと同時に、人として、してはならないと思う行為には毅然としてNOを伝えました。

また、とくに生の基本となる食事や排泄の介助では、患者さんの自主性の尊重が最重要で、よかれとの思いからの介助であっても、その方の自主性に添っていなければ、押し付けにすぎないということにも気づかされました。

「どんなに不自由であっても、自主性をもって命をつなぐことこそが"人間が生きる"ということの根源ではないでしょうか」

提供される看護に満足せずクレームの多い、高齢の患者さんがいました。その患者さんが、亡くなる数日前にさりげなく声をかけてこられたそうです。「あなたとはよく喧嘩したね。だけど、言われたことは心に染みたよ。ありがとう」。

「人は誰でも歳をとりますが、哲学者のアルフォンス・デーケンは、"人は死ぬまで成長できる"と言っています。まさにそうなのだと思いました」

現在、久保さんが統括する東京武蔵野病院看護部の理念は、患者さん自身の自己決定を最優先したケアを提供すること。そして、その実現のために、「看護師として自立する」ことを目標に掲げています。自分が下した看護の決断について責任を持つこと、他者の意見に耳を傾ける柔軟さと自分の信念を貫き通す強さを併せ持つこと、他者の立場を想像し理解する努力をすること。―ここには、久保さんの経験の結実が見てとれます。

「精神科の看護では、患者さんの心と体の両面からアセスメントできなければなりません。人間としての豊かな成長が看護師としてのスキルアップにもつながると思っています」

2003年にいち早くクリニカルラダーを基盤とした人材育成を始め、05年には教育専任看護師を配置して教育体制を強化しました。さらにキッズルームの設置や様々な教育プログラムなど、就業のための多方面からの支援があります。

「ただし、主体はあくまでもその方。何を学び、どう成長していきたいのか、その希望に合わせてサポートしたいと考えています」

●プロフィール

久保 文子（くぼ ふみこ）

1973年国立療養所多磨全生園附属看護学校を卒業。同年国立療養所多磨全生に就職。17年間臨床の看護師として経験を積む。91年財団法人精神医学研究所附属東京武蔵野病院に就職。認知症病棟の立ち上げから師長として11年間認知症看護に携わる。その後、看護科長、看護副部長を経て2007年看護部長。09年の組織改編に伴い副院長兼看護部長となり現在に至る。

第2四半期 おすすめ研修

患者はなぜ怒る！クレーム・暴力の対応

●対象者：都内の中小規模施設に勤務する看護職　●講師：横内昭光先生（学校法人慈恵大学総務部渉外室室長）
●実施日時：2010年7月13日㈫●1回定員：30人

院内暴力とは、主に患者や患者家族から医療従事者への、理不尽な暴言や暴力、セクハラなどのことです。近年急激な増加が懸念されており、2008年の全日本病院協会の調査によると、50％以上の病院で年間平均約12件発生しており、現場で直接患者と接する看護師にとっても、極めて大きな問題です。

今回の研修で講師を務めてくださった横内先生は、板橋署刑事課長、新宿署刑事第一課長、本庁捜査一課管理官（殺人捜査担当）を歴任後、04年に慈恵大学総務部渉外室室長に就任された警察官OBです。研修の主な内容は、実際に横内先生が経験された院内暴力や悪質クレームの実態、暴力発生時の対応策についての講義に加え、離脱術の実演も行いました。看護師を志す人は基本的に心の優しい人が多く、暴力行為を受けても自分が我慢すればと思いがちで、それが暴力のエスカレートにつながるケースがしばしばある。暴力は絶対にゆるさないという毅然とした態度で、組織全体で取り組むことが重要と強調されました。

本研修は、10月8日にも第2回目が予定されています。申し込みをお待ちしております。

横内先生は、報道で見聞きしたことのある事件を多数指揮して解決されており、それらの事件の話も織り込んだ内容の講義となりました。

離脱術の実演。横内先生が胸ぐらをつかまれた医師役。患者役はインストラクターに見えますが、じつは男性の研修生の方。

"ああ！なるほど！"そんな声があちらこちらから聞こえてきます。横内先生の実演をお手本に、実際に離脱術を行いました。つかまれた手がスルリとはずれます。

「見た目年齢」

"○○さん、若いわねえ"という言葉は、ある年齢以上になったころから、お世辞かな？と思っても、うれしいものですよね。

南デンマーク大学公衆衛生研究所で、ちょっと面白いコホート研究が行われました。70歳以上の同性の双生児1,826名でパスポートタイプの写真を撮影し、年齢を、看護師20名（女性25～46歳）・若者10名（男性22～37歳）・高齢者11名（女性70～87歳）に推定してもらったのです。2001～2008年（7年弱）追跡調査し、被験者は身体機能・認知機能・老化のバイオマーカー（*白血球テロメアの長さ）を評価されました。その結果、見た目が若いほうが長生きである可能性が高いという結果が出たそうです。また、見た目年齢と身体機能・認知機能・白血球テロメアの長さにも相関関係があったとのこと。

そんなわけなので、"若いわねえ"と言われたら、素直に喜ぶことにしましょう。

*白血球テロメア：染色体末端のDNA配列。分裂のたびに（つまり時間の経過とともに）端から削れて短くなることから、老化のバイオマーカーとして評価されている。

〔文献〕
Christensen K et al: Perceived age as clinically useful biomarker of ageing: cohort study. BMJ. 2009 Dec 19; 339: b5262.

〈出席者〉

小泉 隆司さん
（多摩立川保健所・多摩府中保健所内 医療安全支援センター「患者の声相談窓口」臨時職員／看護師）

奥住 里沙さん
（医療法人財団岩尾会東京海道病院看護部）

大山 均さん
（医療法人財団岩尾会東京海道病院看護部長）

菊池 美佐子所長〈司会〉
（東京都ナースプラザ所長）

座談会 やっぱり看護が好き

看護師の障害からの復職
―復職への意欲を受け止める施設が増えています

障害をもつことで、即看護師として働き続ける道が閉ざされるわけではありません。看護職が求められるさまざまな施設やセクションがあります。障害を理解し働きたいという意欲を受け止める施設も増えています。

障害をもつ前は

菊池 今回は、看護師として仕事をされていて、障害を持ったためにいったん退職せざるをえなかったけれども、資格を活かして看護の現場に復帰された、小泉さんと奥住さんにお出でいただきました。受け入れた施設の側のお話もお聞きしたいと思いましたので、奥住さんの職場から看護部長の大山さんにもご出席をお願いしました。

お二人のプロフィールもご参照いただくとして、まず、退職前はどんなふうに働いていらしたのかお聞きしたいと思います。

小泉さん

小泉 2003年に全身性エリテマトーデス（SLE）を発症するまで、長谷川病院に25年間勤務していました。その間、アルコール依存症専門病棟に開設からかかわり、約2,500人の患者さんを看てきました。SLEを発症して退職後は、主にアルコール依存症からの社会復帰を支援するNPO法人に勤務しておりました。

菊池 アルコール依存症のスペシャリストとして、看護の現場で活躍していらしたのですね。

奥住さんはどちらにお勤めだったのでしょうか。

奥住 重症心身障害児施設の東京都立府中療育センターに勤めていました。看護学校を卒業したら総合病院に行く人が多いのですが、病院実習で見た看護師さんは医師の補助や医療的処置に追われて、学校で学んでいる看護がなかなかできないのだなと思いました。総合病院の看護は自分がやりたい看護とは少し違っていると思い、いろいろ探して重心にたどり着きました。看護師も主体となって、患者さんのために計画を立てて援助していけるところが魅力的で決めたのですが、思ったとおり、とても楽しく働けました。

復帰までの経緯ときっかけ

菊池 退職されてから現在の職場が決まるまでの経緯は、どんなふうだったでしょうか。

小泉 SLEステロイド治療の影響で3年前に脳梗塞を起こし、右半身に後遺症が残りました。最初は右手が挙上できず、歩くこともできませんでしたが、リハビリして歩けるようになり、右手も少しは動かせるようになりましたが、パソコンの操作に支障が出ました。当時勤めていたNPO法人は、都と市からの助成金を申請するための事務処理等がものすごく大変でした。事務処理にはパソコンを使いますが、左手1本では到底追いつきませんので、他の職員に迷惑をかけてしまいます。また、看護の現場に戻るとなると、この体では患者さんにも迷惑がかかってしまうと考え、昨年3月に自主退職しました。

翌4月からハローワークに1年間通ったのですが、身体障害者の求人はほとんどがパソコン業務などで、看護の技術を活かせる職は全然ありませんでした。昨今の時代背景もあるのでしょうが、たいへん厳しい状況でした。その後、看護師の免許は障害を起こしたからといって剥奪されたわけではない、私はやはりそれを活かして働きたいと考えて、ナースバンク立川（以下、バンク）に登録しました。そして、バンクの紹介で4月から、多摩立川保健所と多摩府中保健所内の医療安全支援センターで「患者の声相談窓口」を担当しています。

菊池 奥住さんの復職のきっかけは、どうだったのでしょうか。

●プロフィール●

小泉隆司さん
1981年高等学校卒業後、地元の岩手県で大学病院に就職し手術室にヘルパーとして配属となる。男性看護師の存在に触発され一念発起、看護師を目指して上京する。医療法人社団碧水会長谷川病院（精神科）に勤務しながら准看護師看護専修学校および看護専門学校に通う。92年看護師免許取得し、同病院に継続勤務。2003年SLEを発症し06年退職。同年アルコール依存症からの社会復帰を支援するNPO法人リビングハウスマムの所長となる。07年SLEステロイド治療の影響で脳梗塞を発症し、09年退職。10年4月より多摩立川保健所・多摩府中保健所内の医療安全支援センターで「患者の声相談窓口」を担当。身体障害者手帳2級。

奥住里沙さん
祖父母の訪問看護で見た看護師の姿が自分の未来像と重なる。高校生になり進路を決めるにあたって、将来の妊娠・出産、子育てにも有利と考え看護職を選択する。あこがれを持ってというよりは大変な職業というイメージのほうが強かった。2005年都立青梅看護専門学校を卒業し都立府中療育センターに勤務。07年高安動脈炎による脳梗塞を発症し退職。一度は看護職をあきらめ、09年には都事務職員にチャレンジ。そして、同年12月より医療法人財団岩尾会

奥住さん

大山さん

菊池所長

奥住　リハビリのつもりでたまたまバンクの近くを歩いていたとき、看護学校のときにお世話になった高森美恵子先生と偶然出会いました。バンクに赴任されたとのことで、事情をお話ししたところ、もう一度職場と相談してみるようにというアドバイスをいただきました。まだ休職中だった職場に相談しましたが、異動で忙しい時期だったことなどもあって、なかなか具体化しませんでした。これは自分でなんとかしなくてはと思い、職業安定所に行ったり民間の看護師職業紹介所や障害者職業紹介所に電話したりしていろいろ聞いてみました。でも、どの紹介所でも、「都の大きな施設で看護師として働くことは難しいと言われたのなら、難しいと思いますよ」とのことで、もう本当に看護師として働くことはあきらめなければならないのだと思いました。働いていたころ着ていた白衣もゴミ袋に詰めて、決心して都の事務職を目指すことにしました。高森先生にその報告をしなければいけないと思いバンクに行きました。「やっぱり難しいみたいです。事務職で頑張ります」と報告したところ、高森先生はその場で、端から施設に電話をかけてくださいました。そのときは結局、受け入れてくれる施設はなかったのですが、看護師として働いてほしいという強い思いを感じました。看護の先輩がこうやって動いてくれているのだから、何かできるのかもしれないと思いました。

その後、高森先生が東京海道病院に連絡をとってくださり、昨年12月から東京海道病院看護部に所属し、作業療法（OT）のアシスタント、主に患者さんとのコミュニケーションの補助をしています。

受け入れてみて

菊池　東京海道病院さんは、奥住さんの障害についてご理解いただき、受け入れてくださったわけですが、最初にこの話をお聞きになったときは、どう思われましたか。

大山　高森先生とは面識もありましたし、お話しする機会もたびたびありました。それもあって、今回のお話をいただいたとき、まず本人と会ってみようと思いました。

菊池　これまでも障害のある方を採用されたことはおありだったのでしょうか。

大山　採用の実績はありませんでした。しかし、実際に奥住さんとお会いしてみた印象、とくに困難に立ち向かっていろいろな問題を乗り越えていける芯の強さを感じ、採用したいと思いました。

もちろん、再発した場合や業務中のアクシデントなども考えました。でも、本人の働きたいという意欲と、まだ20代と若い奥住さんの可能性に賭けて、採用の方向に行きました。非常勤からスタートし、いずれ常勤にということで、やはり条件はついてしまいましたが、本人にも了解いただきました。

菊池　奥住さんのお仕事の内容ですが、OTのコミュニケーション補助ということでしたね。

大山　奥住さんに来ていただくにあたって、どういう仕事ができるのかと、いろいろ考えてみたのですが、病棟や外来の現場では難しいと思いました。しかし、当院は精神科ですからOTがあります。病棟から下りてきた患者さんたちがグループをつくって、いろいろな作業をしますが、看護部の職員として患者さんとコミュニケーションをとっていただくのならば、奥住さんは対応できるのではないかと考えました。

働いてみて

菊池　奥住さんは、実際に働いてみていかがでしたか。

奥住　重心では言葉の話せない人の様子を見てコミュニケーションを取る看護をしてきましたので、言葉のコミュニケーションには、正直自信がありませんでした。OTの技術もありませんし、片手しか使えませんので作業自体を補助するにも限界があります。私はいったい何ができているのだろうと悩んだこともありました。

でも、そういうこともすぐ周りのスタッフに相談できる環境なのです。話を聞いていただいたときに、「ゆっくり慣れていけばいいから」と温かく言われたことが大きかったと思います。そこからは、OTを補助することによってOTがよりよくなって、患者さんにいい環境がつくれればいいのだと思えるようになってきました。看護の目線も持ちながらアシスタントの業務ができたら、すごくすばらしいという思いがあります。

菊池　看護師の視点を活かしたいという思いはとても重要なことだと思います。重心でのコミュニケーションとは全然違っていますから難しいところもあるかもしれませんが、スタッフの方々はあたたかく受け入れてくれたのですね。

奥住　OTのスタッフの方々は、皆とてもやさしく見守ってくれています。リハビリのプロでもありますから、私の体のこともよくわかってくれて、働きやすいようにしてく

大山　均さん
秋田県能代市出身。1973年東京精神病院協会府中看護高等専修学校を卒業し、准看護師免許取得。79年東高尾看護専門学校を卒業し、看護師免許取得。東京と福岡での病院勤務を経て、97年5月より医療法人財団岩尾会東京海道病院看護部勤務。99年5月より現職。東京海道病院看護部に勤務。

菊池美佐子所長
1970年福島県立高等看護学校卒業。同年4月福島県立医科大学病院勤務。71年7月東京都に入職し都立病院看護師となる。同院看護長・看護科長を経て2004年看護部長。07年5月東京都を退職。同年6月東京都保健医療公社多摩南部地域医療病院看護部長就任。10年3月に同公社を退任し、同年4月より東京都ナースプラザ所長。

れます。私が普段障害を気にせず働けているのは、周りのスタッフが気にかけてくれているからなのだと思っています。

大山　人の精神現象は、言葉で表せばよくわかりますが、行動だけを見た場合、考えていることの推察はついても、よくわからないことのほうが多いのです。このことを理解して、患者さんの行動を読み取りながら、言語的にしても非言語的にしても、気持ちをうまく引き出してかかわることも看護の一つの仕事です。今後はそういった技術を身につけていってもらえればいいのかなと思います。

奥住　はい。いまはまだ、患者さんたちに励まされることのほうが多いのです。（笑）それもすごく幸せなことだと思っています。

大山　奥住さんは、目立たないけれどもいなくてはならない存在になりつつあると思います。患者さんが、相手を思いやる気持ちを持てることも大切なことです。それを、自分は不幸と思わずにかかわっていってもらえればいいと思います。お互いにわかりあえる部分ができたところで患者さんと接してもらえれば、それだけで奥住さんの仕事は十分できているのではないかと思います。

菊池　お聞きしていて、施設側のご理解がすごく大きいと思いました。

大山　そうですね。そういう理解もないと採用には至っていないと思います。本人も仕事が楽しく、今はしあわせということですし、奥住さんの感性で患者さんとかかわっているのを知るにつけ、採用してよかったと思いますし、やはり正解だったという思いを強くしています。

看護師としての視点を活かして

菊池　小泉さんは、アルコール依存症の患者さんと、コミュニケーションを大切にかかわってこられたことと思います。いまのお仕事に、それは活かされていますか。

小泉　活かされていると思います。たとえば、苦情を一方的に話される方などでは、30分も40分も傾聴しなければならないようなこともあります。傾聴することは、アルコール依存症の患者さんとのかかわりを通して習熟してきた部分です。今後は医療法、薬事法などの法律をもっと勉強したいと考えています。そうすることで、ほとんどの相談に対応できるのではないかと考えます。働き始めてまだ3カ月なので早計かもしれませんが、そんな手応えです。

後列左から大山さん／菊池所長、前列左から奥住さん／小泉さん

菊池　ご自身の障害について、現在はどのように受け止めていらっしゃいますか。

奥住　重心の看護で、「障害は個性」と考えて患者さんとかかわってきました。今度は自分が障害者になったわけです。最初のころは自分でも左手が動かない障害者だと思っていたのですが、徐々にこの体に慣れてあたりまえになってくると、障害が個性というのはこういうことなのだなと、ようやくわかってきた気がします。

菊池　小泉さんはいかがですか。

小泉　私はいまだに自分が障害者ということが受け入れられずに、どうしようもなくネガティブになることがあります。でも、その気持ちを前向きにさせてくれるのは、やはり人間関係なのだということです。

菊池　いま看護職は病・医院だけでなく、さまざまな施設やセクションで必要とされています。障害をもったからといって、それで即、看護師として働く道が閉ざされてしまったとあきらめないでいただきたいと思います。そして、携わる仕事の中で看護師の視点を活かしていただくことです。看護師の資格をもっているということは、そういうことではないかと思います。また、求人側の施設の方にぜひともお願いしたいのは、障害へのご理解をいただくとともに、本人の働きたいという意欲を認めて、面談する機会をもっていただきたいということです。障害があるということだけを聞いて断るのは、たいへんもったいないことではないかと思います。

今回お二人のお話を聞いて、障害をもつということは、普通の人にはできない経験をされていることなのだということも改めて考えさせられました。その経験も今後に活かして働いていただきたいと思います。

本日はありがとうございました。

平成22年度

第1回 ふれあいナースバンク（再就職相談会）

日時●平成22年5月28日（金）13:30〜16:00　会場●東京都ナースプラザ

今年度最初の「ふれあいナースバンク」が開催されました。「ふれあいナースバンク」は、看護職の人材を求める施設の採用担当者と就業先を探している看護職の皆様が、気軽に情報収集や相談・面接ができる自由な交流の場です。

「ふれあいナースバンク」はアットホームな雰囲気の相談会です。"再就職を考えてはいるけれども、施設へ直接アプローチするのはまだちょっと…"そんなあなたに、ぜひとも参加をおすすめしたい相談会です。

参加するにあたっては、事前申込みも履歴書の持参も必要ありません。服装も自由ですし、お子さま連れでも大丈夫です。多数の施設の相談コーナーが一堂に会していますので、気軽に複数の施設の担当者と相談の機会をもつことができます。

左記は、実際に参加してみた方の感想です（アンケート調査より）。

一度に多くの施設の方の話が聞けてよかった。

面接を受ける前に、気楽にいろいろな話を聞くことができてよかった。

転居したばかりで、どうやって就職活動をしようかと悩んでいたところだったので、とても役に立った。

ナースバンクを知らなかったので、いい機会になった。

「ふれあいナースバンク」は、今年度は9回の開催となります。ご自宅から近い会場を選んで、ぜひ参加してみてください。再就職への一歩を踏み出すよい機会になるはずです。

会場の東京都ナースプラザは飯田橋駅から徒歩約10分。飯田橋駅はJR線、東京メトロ東西線・有楽町線・南北線、都営大江戸線が乗り入れる、アクセス至便な駅です。

案内に従って2階の受付へ。スタッフが黄色のウインドベストで運営にあたっています。

奥のスクリーンパネルは「パンフレット掲示コーナー」。テーブル席は「ふれあいコーナー」。どちらも今年度新設のコーナーです。テーブルの上には通勤経路確認のための鉄道路線図も。黄色のウインドベストのスタッフがさまざまな場面で案内にあたっています。

"せっかくの機会ですから、お話だけでも聞いてみませんか"スタッフが気さくな雰囲気で声をかけています。

各施設の「相談コーナー」は施設担当者と参加者の方が横並びで着座するようになっていて、対面式より気軽な雰囲気です。今回の参加施設は40施設（うち最多は病院20施設）

相談風景。友人同士の3人がいっしょに話を聞いています。手前の相談者の方は乳母車を押してお子さんと来場しました。

参加施設の担当の方へのお願い

興味をもった施設のHPにアクセスしたところ、「ふれあいナースバンク」についてのインフォメーションがあったので来場したという参加者の方が増えています。

参加施設の担当の方は、ご自分の施設のHPでのインフォメーションを、ぜひよろしくお願いいたします。

平成22年度ふれあいナースバンク「再就職相談会」開催予定

9/10㈮	ナースバンク立川	11/19㈮	ナースバンク立川
9/17㈮	東京都ナースプラザ	1/28㈮	東京都ナースプラザ
11/12㈮	東京都ナースプラザ	2/ 4㈮	ナースバンク立川

ナースバンク活用のQ&A

Q 離職中で就職を考えていますが、離職期間が長く不安です。どこに相談すればいいでしょうか?

A ナースバンクにご相談ください。

離職中の方を対象にした研修が充実していますし、お住まいに近い病院などで行われている研修も紹介いたします。ぜひ一度、ナースバンクにご連絡ください。

Q 先日退職しハローワークで求職活動を行っています。ナースバンクとハローワークは、何か違いがあるのでしょうか?

A 主な違いは二つあります。まず一つは、ナースバンクの求人対象者は看護職の資格をもった方のみであること。そして二つめは、相談員が全員看護職であるということです。ナースバンクは、ハローワークの看護職版と言えます。

ナースバンクでの求人情報検索や就業相談、就職相談会（ふれあいナースバンク）への参加などは「雇用保険受給資格者証」に求職活動として記入することができます。ナースバンクにおいでの際は「雇用保険受給資格者証」をお持ちください。

Q 現在就業中ですが、結婚を機に夜勤のない職場への転職を考えています。ナースバンクは、就業中でも利用できますか?

A 利用できます。

ナースバンクは、看護職の有資格者であればどなたでも利用することができます。求人情報も多く、求職者・求人施設ともに無料で利用できます。

Q 病院勤務8年目です。最近、もっと他の施設で働いて勉強した方がいいのではないかと不安になることがあります。ナースバンクは、そうした相談にも乗ってくれるのでしょうか?

A 大丈夫です。看護職としての経験を積み重ねた相談員が親身に相談に応じます。

仕事をしていると、「このままでいいのだろうか?」と思う時期があります。今の思いや考え、将来に向けての目標などについて一緒に整理しながら、今後を考えていきましょう。

Q 遠いので、ナースバンクには行くことができません。ナースバンクに行かなくても求人情報を教えてもらうことは可能ですか?　相談に乗ってもらえますか?

A ナースバンクの求人はインターネット上で見ることができます。

まず、https://www.nurse-center.net/nccs/から求職登録をしてください。また、就業等に関する相談は電話でも受け付けております。ナースバンクまでご連絡ください。

つれづれ……

今年度1回目の「再就職へのステップ3日間研修」を実施した。受講動機はそれぞれ、ブランクの期間も1～20年と幅広いが、皆生き生きと、実に楽しそうに研修に取り組んでいる。その表情を見ていて思うのは、やはり潜在化をいかにして食い止めるか、働き続けられる環境をどう整備していくかが将来の医療を支える鍵なのだということである。

根幹となるのはワーク・ライフ・バランス（WLB）への取り組みであろう。このほど、日本看護協会と都道府県看護協会は、協働して「看護職のWLB推進ワークショップ事業」に乗り出した。この事業が、地域でWLBに取り組む施設の増加につながり、貴重な人材の確保に結びつくことを望みたい。

（M・K）

●都内で5番目に多い街路樹／プラタナス●

表紙イラストの「プラタナス」はこんな木です。

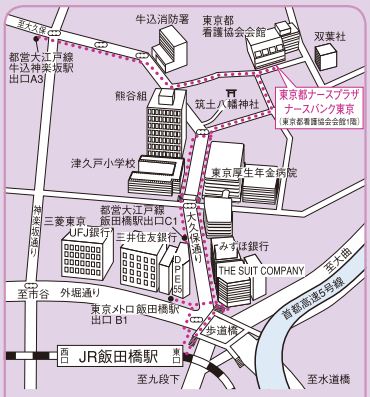
プラタナスはスズカケノキ科スズカケノキ属の落葉広葉樹の総称で、日本では、スズカケノキ、アメリカスズカケノキ、モミジバスズカケノキの3種を見ることができます。このうち、もっともよく目にするのはモミジバスズカケノキで、他の2種の交雑種です。排気ガスなどの悪環境によく耐え剪定にも強いことから、街路樹として世界中で植えられています。

ギリシャのコス島には「ヒポクラテスの木」と呼ばれるスズカケノキの巨木があり、ヒポクラテスが樹下で医学を教えたという、件の木の子孫と伝えられています。この木の種や苗は数回にわたって日本に持ち込まれており、大学の医学部や病院のシンボルツリーとして、ヒポクラテスの医の精神を今に伝えています。

ACCESS

ナースバンク東京

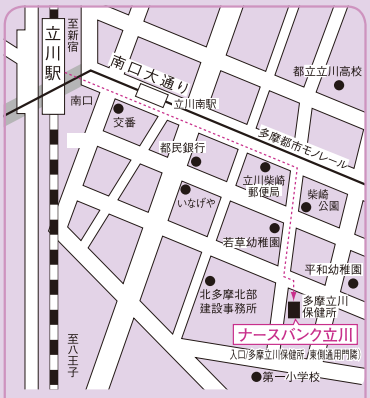
- ●JR中央・総武線　飯田橋駅東口から　徒歩7分
- ●東京メトロ東西線・有楽町線・南北線　飯田橋駅　出口B1から徒歩6分
- ●都営大江戸線　飯田橋駅　出口C1から徒歩5分
- ●都営大江戸線　牛込神楽坂駅　出口A3から徒歩5分



ナースバンク東京 TEL03-3359-3388

ナースバンク立川

- ●JR中央線・青梅線・南武線　立川駅南口から徒歩10分
- ●多摩都市モノレール線　立川南駅から徒歩8分



ナースバンク立川 TEL042-529-7077

東京都ナースプラザ　検索

●ホームページ：http://www.np-tokyo.jp/
●E メ ー ル：np@np-tokyo.jp

TOKYO ナースプラザ やっぱり看護が好き Vol.52（3月・9月の年2回発行）
発行：東京都ナースプラザ　設置主体／東京都　運営受託者／社団法人東京都看護協会
〒162-0815 東京都新宿区筑土八幡町4-17 東京都看護協会会館1階　Tel 03-3359-3355　Fax 03-3260-9066

平成22年9月1日発行
再生紙を使用しています
石油系溶剤を含まないインキを使用しています